



第97号

あゆみ



NPO 法人ユーアイやちよ
276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1
TEL047-482-4109 FAX047-482-4179
E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp
<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>



ご利用者アンケートのご報告

今年度も7～9月に渡って、当法人のサービスを利用されているご利用者にアンケートを実施し、165名の方から回答をいただくことが出来ました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

アンケートの集計結果は別表の通りです。95.8%（去年は97%）のご利用者から「満足」、「おおむね満足」とご回答をいただいたことは、協力会員のみなさんが日ごろから利用者本位の心構えで、サービスを提供している結果と思えます。

また、今般アンケートでご指摘いただいたご意見等につきましては、当法人として真摯に受け止め、今後のサービス改善に繋げるよう努めると共に、アンケートの中でいただきました応援のメッセージを励みに、ご利用者にこれまで以上に満足していただけるよう更に努めていきたいと思います。

利用者様アンケート結果（回答者：165人）

サービスに対する評価	満足している	126人(76.4%)
	おおむね満足している	32人(19.4%)
	どちらでもない	3人(1.8%)
	やや不満、不満	1人(0.6%)
	未記入	3人(1.8%)

【サービスに関するご指摘】

ご指摘いただいた内容	当法人の対応内容
もっとこんなことができます等、サービス内容を知りたいです。 (障害福祉サービスの利用者様)	相談支援専門員の方と相談の上、説明させていただきます。
気になることがあります。掃除の仕方丁寧さが不足している。物がきちんと元の所に収まっていない。トイレの戸が半開きになっている等。	利用者様の話を詳しくお聞きし、ヘルパーの対応を改善するように努めてまいります。
移動サービスは、タクシーより丁寧で満足していますが、車両が少ないのか、希望に対して断られることがあり、失望しています。	福祉有償運送は有償ボランティアであり、ドライバー不足の状況にあります。契約時に希望に添えないこともあるとお伝えしていますが、改めてご説明すると共に、ケアマネージャーにもご理解いただけるように説明してまいります。

【応援のメッセージ】

ご利用者から頂いた応援のメッセージ

★ 訪問介護のご利用者から

介護を受けている者として、大変ありがたい存在ではないでしょうか！何も言うことはありません。いつも感謝です。

私の苦手とするところに気を配っていただけて助かっています。

おむつ交換時に“左右均等”になるように心配りをしてくれるなど、“利用者の身になって対応”してくれるので満足しています。

★ 居宅介護支援のご利用者から

豊富な知識と経験でコンサルされ、安心である。

短い時間ですが、訪問のたびに貴重なお話をありがとうございます。次の訪問を楽しみにしています。

毎月計画表に沿って丁寧に説明していただき、必要に応じて変更や施設との連絡を早急に行っていただいています。とても助かっています。

急な変更依頼にも快く対応していただき、感謝しております。



★たすけあい協議会の研修紹介 山崎 タキヨ

（「NPO法人ユーアイやちよ」は、千葉県たすけあい協議会の役員として研修に参加しています）

1) 総会後の研修について（6月15日）

柏市で、「NPO法人ケアラーネットみちくさ」を主催する布川さんを講師に迎え、活動の歩みをお聞きしました。ご自身が認知症のお母さまを介護する中で感じた疑問や閉塞感から、認知症カフェを始められ、やがてケアラー同士の息抜きや、情報収集の場としてのケアラーズカフェ、今では家事や付き添いなどの生活サポートもされています。

布川さんは、「カフェは場所も大切だけれど、スタバでも出来る話を聞く人がいれば良い…。」との考えの下、プログラムを押し付けるのではなく、参加者の声からその日のプログラムが生まれ、スタッフは盛り上げ役と、さりげない橋渡しに徹しているとのこと、聞きごたえのある実践を拝聴しました。

2) 特別公開研修会「一人で生きるための助け合いと社会保障」（7月14日）

午前中は、登壇者を迎えたトークディスカッション、
午後は、テレビやYouTubeでも有名な上野千鶴子氏や、
医師の本田浩氏を迎えての講演でした。



午前中のトークセッションでは、「2024年 たすけあい活動の現在地」「2050年 老いさらばえた団塊ジュニアはどこにいる？」と言うテーマに基づき、セッションが行われました。

参加者の方の感想は、「助け合いが始まった経緯を知れてよかった！」「改めて助け合いの重要性を感じた。」「ルールを超えて、目の前の人に必要な事をしたいと言う気持ちが湧いてくる人と、こない人がいるがその差は何？」等の意見が聞かれ、助け合い活動を始めて30年以上が経過するユーアイやちよのスタッフとしては、助け合い活動の周知がされてよかったと言う思いと、今後も法人として、助け合い活動を継続して行く、難しさの再確認もできました。

午後の講演では、医師でもある本田浩氏は、「社会保障切り捨て日本への処方箋」と言うテーマで講演され、介護保険事業所の倒産や、医師不足や医療崩壊の現状を訴え続けて、「もっと政治・教育・報道などに目を光らせ、国民の皆が自分の考えを持ち意見を言う社会であるように、これからも訴え続ける。」との内容で、国の施策に無関心ではいけないと感じました。

また、歯に衣着せぬ上野氏の、「政府が在宅を進めるのは、コストが安いからだが、調査データでは、その方が幸せだからである。政策に当事者や現場の声が届かないのは、介護にあたる人たち・現場スタッフに「この程度でよいだろう」という意識が、未だにあるからではないか。権利と制度は向こうからは来ない。要求しないと違うものが来ることを忘れてはならず、監視し、参加し、戦い続けなければならない。要介護者にも安心して、認知症にもなれ、障がい者になっても殺されない社会を実現するために、一緒に声を上げて欲しい。」「無知は罪です！」と言う内容は、目の覚めるような講演でした。

改めて介護保険制度や、今置かれている社会の情勢にも目を向け、自身から発信していく勇気を持ち、関心を持って生きていくことで、明日の自分の生活・将来の子供たちや孫の生活にも反映されることを学びました。



3) コーディネーター研修:講師 山下興一郎氏(9月14日)

研修の参加者は20名ほどで、ゼミのような形態で行われました。15事例が提供され、1事例ずつに、講師の山下氏がコメントや事例を深める質問を繰り返し、提供者自身に気づきや、新たな視点で問題に取り組めるよう、背中を後ろから押してくれる言葉をいただいた研修になりました。

当法人からも3事例提供し、『小さなお手伝い』での取り組みや問題などを、参加者と一緒に話し合いながら、まだ頑張れるかな(o^ー^o)と言う勇気をいただきました。また他の方の悩みを聞き、「皆一緒でも、今、目の前の小さな困り事に自分ができる事をしていこう！」と、感じる事が出来た研修でした。

★やちよ介護人材合同おしごと説明会参加

10月29日（火）に、イオンモール八千代緑が丘「アゼリア広場」で、八千代市介護サービス事業者協議会主催の「やちよ介護人材合同おしごと説明会」が開催されました。今回は初めての試みで、開催に向けて、協議会の役員や研修委員で何度も検討を重ね、開催にこぎつけました。当日は20事業所が参加し、午前、午後、夕方の各部に分かれてブースを出しました。

『ユーアイやちよ』は午後の部のブースに参加し、ブースでの来訪者への説明は、山崎さん、池田さん、伊藤さんが担当しました。

ブースの他にパネルディスカッション、介護サービスの説明などを行いました。また、紙おむつの当て方教室も同時に開催されました。ノベルティのプレゼントや、『やっち』の参加もあり、盛り上がりを見せました。



ステージでは、『ユーアイやちよ』の説明を行う機会もありました。5事業所が登壇して行われた

「介護のおしごと説明」には網干が参加して、訪問介護の仕事内容の説明や、勤務形態、ボランティア活動の説明を行いました。

今回の説明会に訪れていただいた方の中から、介護の仕事に興味を持っていただける方が、少しでも多く出てきてくれることを願わずにはられません。



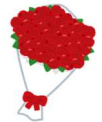
微笑みの輪

～ 会員リレーメッセージ ～

- 1.ユーアイやちよでの職務と勤務期間
- 2.好きな言葉
- 3.仕事に当たって心がけていること
- 4.利用者さんから教えていただいたこと
- 5.仕事をしていてうれしかったこと
- 6.仕事以外の趣味や楽しいこと

湯川明子さん

訪問ヘルパーとして2年1ヶ月
自分の機嫌は、自分で取る
利用者一人一人に合った話し方、声のトーン、
できるだけ話しやすい雰囲気を作ること
深く知ること、言葉にならない本当の思いを知ることの大切さ
たわいのないことを笑顔でお話できたとき
ショッピング、人とおしゃべりをする



★高齢者虐待防止の研修を受けて 井上 純子・藤田 紀恵子

『虐待』と聞くと暴行を受けた虐待のイメージが大きいです。高齢者を放置したり、衰弱させるような著しい減食や、心理的虐待、経済的虐待、性的虐待など様々な『虐待』があります。

心理的虐待や経済的虐待、性的虐待などは、見た目で見ることが難しく、事態が大きくなってから気づくケースなどもあり、注意が必要になります。また、最初は「このくらいいいだろう。」との思いから始まり、どんどんエスカレートしていくそうです。ニュースなどで流れる『虐待』は、事態がひどくなってから発見されるケースかと思えます。その前に未然に防ぎ、『虐待』からご利用者を守っていくためには、しっかりとチームで連携を図り、情報をキャッチしていくことが必要と感じました。

今回学んだことを何度も読み返しながら、『虐待』についての知識を深めていきたいと思えます。また、高齢者虐待についての研修を継続して受けていくこと、施設や事業所では、今年度から『虐待』についての指針を運営規定に定めることが、『虐待』を未然に防いでいくために重要であることを学びました。



★令和6年度 多様な働き方推進事業の支援について

この事業には、「テレワーク導入支援」と「働き方改革の推進」と2項目があり、5回に渡って訪問していただき支援を受けています。今回は、「テレワーク支援」で提案していただいたものを紹介します。

ケアマネージャーからの要望を基に、中小企業診断士の方からテレワークに限らず、業務の効率化につながるシステム等の提案をいただきました。具体的には、『Notta』という音声AI、『マジックコネクト』というリモート操作する機器、『Microsoft Teams』というファイル共有ソフトです。

『Notta』はスマートフォンで録音し、それを文字データに変換しAIが要約してくれるというアプリです。

『マジックコネクト』は、インターネット環境があれば、自宅からでも事務所のパソコンを操作できるアプリと機器です。

『Microsoft Teams』は、複数のパソコンでファイル共有等を行えるシステムです。（当法人ではLINE Worksをすでに活用していますので、それでファイル共有等が行えます）

介護職員の処遇改善加算も、生産性向上への取り組みが必須条件になっているように、介護に関係する業務の効率化が強く求められています。時間はかかるかもしれませんが、今後も事務的な業務を効率化し、利用者さんと向き合う時間を今よりも作れるように改善していきたいと思えます。



【行事報告】

- 6月～8月 職員・ヘルパー面談
- 7月～9月 利用者アンケート
- 9月19日 「語らいパートナーの会」勉強会
- 9月21日 定例会・BCP（自然災害・感染症）研修
・訓練、感染症・食中毒予防研修
- 10月 定例会（研修：認知症）
- 10月29日 やちよ介護人材合同おしごと説明会

【今後の予定】

- 11/21 「語らいパートナーの会」勉強会
- 1月 定例会（未定）
- 11/16 「語らいパートナーの会」勉強会
- 3月 定例会（未定）

【賛助会員の協力について】

7月以降、下記の方から賛助会費をいただきました。大変ありがとうございます。
石垣クニ子様、伊東睦子様、島津誠治様、中島幸枝様、八十川トシ子様、大津桂子様、松本清様

賛助会費は、「地域支援費（傾聴ボランティアや小さなお手伝いの活動費）」および「移動サービス（福祉有償運送）に使用する福祉車両の整備費」等に活用させていただきます。

新しく賛助会員になっていただけの方、今後も継続していただける方は、お電話をいただければお伺いします。

振り込みいただける方は、電話で連絡いただいたのち、下記口座をお願いいたします。

* 振込先：千葉銀行新八千代支店（普通）3266357

* 口座名義人：特定非営利活動法人ユーアイやちよ 代表 網干 勝